

パスデル

十人十色、だからステキ。
自分らしい“明日”を描こう。

平成 28 年秋号
年 2 回発行

116 号

CONTENTS

- 4 【特集】
誰もが活躍するための
女性活躍推進法
- 6 自分らしい“明日”を描こう
色とりどりに輝く大田区の仕事人
お仕事レポート vol.3
かない
金井 めぐみさん
- 7 インフォメーション
- 8 エセナおおたからのお知らせ

page

2 巻頭インタビュー

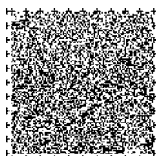
介護の経験を活かし、
新しいチャレンジを。

タレント
に
つ
た
え
り
さん
新田恵利さん

Eri Nitta



このマークは、目の不自由な方などのための「音声コード」で、コードの位置を示す切込みを入れています。専用の読み上げ装置で読み取ると、記載内容を音声で聞くことができます。



介護の経験を活かし、新しいチャレンジを。

人気アイドルグループ「おニャン子クラブ」の元メンバーで、女優や作家など、マルチに活動している新田恵利さん。多くの人の共感を呼んでいるお母様の介護や大病の経験を通して、家族の大切さや仕事への意欲についてうかがいました。



タレント
に っ た え り
新田恵利さん
Eri Nitta

Profile
昭和43年3月17日生まれ。埼玉県出身。アイドルグループ「おニャン子クラブ」の一員としてデビューし、人気を博す。女優、作家、エッセイストとしても活躍するほか、自身の介護体験をつづったブログが共感を呼んだことから、介護に関する講演やシニア向け食器の開発など多方面で活動中。

お母様の介護やご家族について教えてください。

テレビ出演や文筆活動など仕事に励む中、二世帯住宅で暮らしていた母が、平成25年の秋に圧迫骨折で入院したんです。入院している間に母の様子がどんどん変わり、とても焦りました。例えば、私が出演しているはずのないテレビ番組に私が出ていると言ったり、30年前に亡くなっている父の様子を尋ねてきたり……。このままでは大変だ！と、すぐに退院させたのですが、入院前は元気だった母が、自宅に着いたタクシーから、自分の足で降りることができない状態になっていました。兄と一緒に汗だくで2階へ運びました。このように、母の介護は突然始まったんです。

最初は大人用のおむつの替え方すらわからず、どんな行政サービスがあるのかも知りませんでした。市役所の方やケアマネジャーさんなどのおかげで少しずつ覚えていくことができました。その後、

訪問リハビリや訪問入浴など、必要な介護サービスを利用することができるようになり、一時期は私よりも母の方が忙しいくらいでした(笑)。

介護は兄や夫と助け合いながらやっています。兄は離れて住んでいたのですが、介護が必要になったことをきっかけに、母と同居するようになりました。介護が始まるまで、兄と母はそれほど接点が多いわけではなかったのですが、介護をきっかけにとっても仲良くなりました。兄は、夕方から夜にかけて飲食店で働いており、日中に仕事が多い私と交替で介護を担当してくれています。

夫も母の介護にはとても協力的です。私も兄もいない時には母の食事の用意をしてくれ、夫にはとても感謝しています。

仕事と介護を両立させるには、家族全員の協力と少しの妥協が必要です。仕事で誰もいなくなってしまう時は、温かいお茶を魔法瓶にいれて出かけるのですが、数時間後にはぬるくなってしまいます。

今後の目標と読者へのメッセージをお願いします。

今後は新たに、脚本の執筆と介護の経験を活かした活動に取り組んでいきたいと思っています。小説は書いたことがあるのですが、脚本については、舞台仲間から脚本を書くことに向いていると言われたのがきっかけで、チャレンジしたいと思っています。

また、介護に関する講演活動も続けていきたいです。現在介護をしている私がお話することや、「勇気つけられた」と言ってくれる方がいますし、聴いてくださった方の役に立っているのほうれしいです。介護については言いつらかったり、隠したがったりする人が多いようで、最初は私もブログで公表することをためらいました。でも、親が老いるのは恥ずかしいことではないし、情報を得るためにもオープンにしていくべきじゃないかと思っています。

最近では講演活動に加えて、シニア向け食器の開発にも携わっています。母の食事介助をしている際、お茶碗の内側が白色だと、高齢者にはお米



シニア向け食器
お母様の介護体験をもとに
企業とコラボして作った食器。

が見えづらいことに気づいたんです。内側も黒色の食器があったらいいなと思ったのが開発のきっかけですね。お箸も持ちやすいよう、通常の物より短めに作ってあります。

講演会で伝えたいことは、親がある程度の年齢になったら、介護に向けた準備をしましょう、ということ。例えば、介護サービスの利用に伴う負担について事前にきょうだいで話し合ったり、病院も自身の家が親の家の近所か、どういう特色の病院なのかなど、前もって情報収集しておくことがとても大切です。一人で抱え込まずに、行政の力を借りることや、家族みんなで助け合うことで、日本の介護が明るくなるいいなと思っています。

仕事と介護の両立には、一人で介護を抱え込まず、家族で助け合うことが必要です。そして、介護を経験している私だからこそ、やれる仕事があると思うんです。

そういう時は、「お母さんもうしませんがまんしてね」と伝えていきます。完璧を目指さず、家族全員が少しずつ妥協することが円満な介護のコツなのではないかと思っています。

最近、脳動脈瘤の手術をしたとうかがいました。

3年ほど前、テレビ番組の企画で人間ドックを受診した際に見つかりました。食事にも気を遣っていますし、お酒もたばこも夜遊びもやらないし、身体に悪いことと言えれば運動習慣がないことだけ。まさに青天の霹靂でした。

経過観察をしていたのですが、瘤が倍の大きさになったことから、今年6月に手術しました。人間はストレスが複数重なるとう病気が悪くなる

言われています。この1年で介護や仕事など、複数のストレスが重なったので瘤が大きくなったのかもしれない。一般的に脳ドックは職場で受けることができる健診の対象外であるため、自己負担は安くありません。しかし、脳動脈瘤には自覚症状がないので、脳ドックを受診しない限り見つけることは難しいのです。

私たち夫婦は子どもがいないうのですが、もし子どもがいて脳動脈瘤が見つかったら：と考えたら胸が張り裂けそうになりました。私は脳ドック推奨委員会委員長を自称しているのですが(笑)、自分の健康だけでなく、家族のためにも、検査したことのない方はぜひ一度受けてほしいですね。

誰もが活躍するための女性活躍推進法



自分にも関係があるのかな？

今年4月に施行された女性の職業生活における活躍推進法（女性活躍推進法）。何だか難しそうだし、自分には関係ないと思っている方も多いのではないのでしょうか。実はこの法律、女性だけでなく、すべての人に関係している「仕事」と「家庭」に関わるものなのです。この特集では、女性活躍推進法がどのように私たちの生活に関係しているのかを考えていきます。

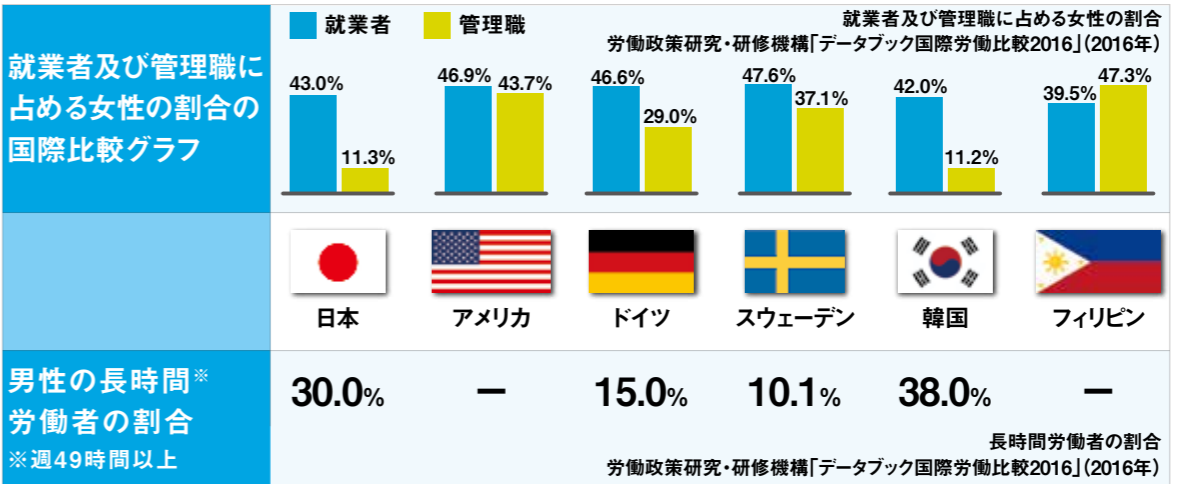
「女性活躍推進法」って？

「女性の活躍」とはどのようなことでしょうか。左上のグラフが示しているように、第一子の出産をきっかけに退職する女性は62%にもなります。さらに、妊娠前にパートや派遣として働いていた女性の場合では8割以上が退職しており、仕事と家庭の両立の難しさを物語っています。この背景として、未だに根深い「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識の存

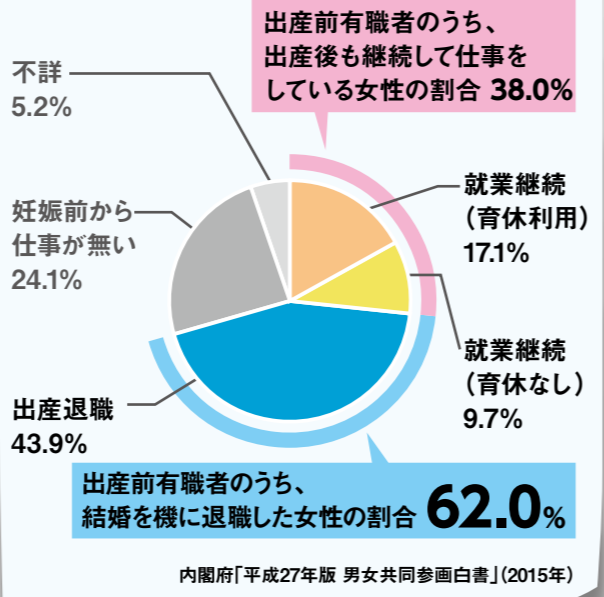
在と、長時間勤務や転勤など男性中心の働き方を前提とする労働慣行とが、表裏一体をなしていることが考えられます。そのため、女性が働き続けたいと思っても、出産・育児のために仕事を辞めることが多くなり、男性が子育てに関わりたいたいと思っても、長時間労働などのために難しくなってしまうのです。さらに、これらが男女の管理職比率の差や賃金の差にもつながっているとも言われています。

企業における取組みの促進

日本における女性の就業率は約4割と、おむね海外の先進国並みですが、下のグラフが示しているように、管理職に占める女性の割合は約1割にとどまり、韓国に次いで低くなっています。



第一子出産前後の妻の就業経歴



「大田区女性活躍推進計画」の策定

本年3月に策定した第7期大田区男女共同参画推進プランにおいて、女性活躍推進法に定められた「女性の職業生活における活躍推進計画」を包含しています。計画期間は平成28年度から32年度までの5年です。区では、この計画に基づき、性別による役割にとらわれることなく、誰もが認め合い、活躍することのできる環境づくりに取り組んでいます。今後は、地域団体や企業、教育機関等と連携し、すべての人が職場や家庭など、自分の決めたステージで活躍することのできる「おおたの男女共同参画社会」を目指します。



性別によって生じているこのような差を解消し、女性の能力発揮を促すために、企業による積極的な推進が必要とされています。その具体的な取組みの一つを「ポジティブ・アクション」といいますが、労働意欲の向上や新しい価値の創造、企業のイメージアップなどの点で労働者・企業ともにメリットがあります。

また、女性活躍推進法では、男女ともに働きやすい職場環境を進めていくため、従業員30人以上の企業には、女性活躍に関する状況の把握と、改善のための行動計画の策定を義務づけています。把握した現状と行動計画は、「女性の活躍推進企業データベース」に集められ、ホームページ上で一般に公開されています。

今こそ求められる働き方改革

女性が仕事をがんばりたいと思っても、家事・育児負担がこれまでと同じでは、仕事の面で活躍することは難しくなっています。そこで、大切になってくるのが男性を中心とした

働き方の改革です。

日本の法定労働時間は週40時間以内と定められています。右下のグラフが示しているように、日本人男性の約3人に1人は週49時間以上働いています。これでは「仕事以外の生活」を充実させる時間の余裕がありません。

男性が働き方を見直し、ワーク・ライフ・バランスのとれた生活を送ることは、自身の仕事と生活の質を向上させるとともに、女性の仕事と生活の質の向上にもつながります(ワーク・ライフ・バランスとは、「仕事」と育児や介護、地域活動など「仕事以外の生活」との調和を図ることですが、詳しくはパステル115号をご覧ください)。

誰もがさらに活躍できる社会へ

女性活躍推進法は、男女がともに多様な生き方、働き方を実現できるよう、仕事と家庭のあり方を変革するためのものです。しかし、法律ができただけでは現状は変わりま

パステル おすすめ本

2人が「最高のチーム」になるワーキングカップルの人生戦略

著者 小室淑恵・駒崎弘樹
発行 英治出版

内容:「成果を上げる秘訣は『家庭』にありました。」と題し、共働き&子育て中の著者2人が悪戦苦闘の果てに生み出した生活術を紹介。見えてきた新しい夫婦のカたちを提案します。

▶ エセなおたの図書コーナーにて貸出しています。



せん。職場でも家庭でも、全ての人が輝くことのできる社会をつくるには、一人ひとりの行動と企業の取組みが必要なのです。
※1女性の活躍推進企業データベース:
<http://www.positive-youarts.jp/positivedb/>

国の動き

優良企業認定制度「えるぼし」

女性の活躍に向けた企業の取組みを促進するため、国は平成28年4月に優良企業認定制度「えるぼし」を創設しました。厚生労働大臣の認定を受けると、企業は商品や広告に認定マークを付けることができるなど、企業の取組みが一目で分かる制度です。



都の取組み

東京都女性活躍推進白書

東京都は、自治体初となる白書として、平成28年2月「東京都女性活躍推進白書」を策定しました。男性も女性もいきいきと豊かに暮らせるまち・東京の実現に向け、数々のデータや意識調査で現状と課題を把握するとともに、今後の取組みの方向性を提言しています。

※HP「東京都女性活躍推進ポータルサイト」
(URL <http://www.tokyo-wlb.jp/women/>)

区からのお知らせ

大田区では、男女共同参画に関する施策を総合的・計画的に推進していくため、「第7期大田区男女共同参画推進プラン」を策定しました。

本計画は、第6期までの計画を継承するとともに、「配偶者暴力の防止及び被害者の保護等のための計画」、「女性の職業生活における活躍推進計画」として位置付けています。今後は、本計画の基本理念「誰もが認め合い、笑顔がつながるまち おおた」のもと、施策の推進を図ってまいります。

また、区民の皆様がこのプランを身近に感じていただくため、

▼ナビゲーター萩原 なつ子氏によるまとめ

今回の対話を通して、同じ問題意識を持った人、共通する思いを持った人との出会いがあったと思います。その出会いを大切にいただき、ぜひ、「笑顔がつながるまち おおた」を実現するために、「必要なことは何か」そして「私たちにできることはなんだろう?」と、ともに考え、ともに実行していただけたらうれしいです。



▼100人ミーティングで出されたアイデアの一部をご紹介します。

目標1 誰もが尊重される安心のまちを築きます

必要なこと: 人とのコミュニケーション
明日からできること: 地域の人の声掛け運動

目標2 多様なライフスタイルの実現を応援します

必要なこと: 世代・男女関係なく話し合える場所づくり
明日からできること: ご近所のあいさつ、声掛け運動、若い人を巻きこむ

目標3 女性の活躍で地域力を向上します

必要なこと: 一歩踏み出す、きっかけづくり
明日からできること: あいさつ、参加をして発信する(何かをしゃべる)

目標4 地域と協働して計画を進めます

必要なこと: 楽しく・気軽に行ける魅力あるイベント
明日からできること: 自分の自治会の総会・イベントに誰かを誘って参加する

大田区ホームページ ▶ 地域社会 ▶ 男女共同参画社会を目指して ▶ 講座・講演会のお知らせ ▶

【開催報告】おおたの未来を考える!100人ミーティング~笑顔がつながるまちを考えよう~を開催しました。
(URL: http://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/chiiki/danjo/kouza_kouenkai/100mt_0625.html)
でも発表の内容を紹介しております。是非ご覧ください。

自分らしい
“明日”を描こう

色とりどりに輝く大田区の仕事人

お仕事レポート vol. 3



株式会社ディスコ
人財部 人事チーム リーダー

かない
金井 めぐみさん
Megumi Kanai

Profile

「従業員と経営が近い関係にある企業で人事の仕事がしてみたい」と思い、平成18年に株式会社ディスコに中途入社。以来、DISCO VALUESにある「Always the best, Always fun」をモットーに、プロフェッショナルとしての進化を目指している。

年齢、性別、国籍などに関わりなく、優秀でやる気のある人が活躍できるように応援したいです。

会社について教えてください。

当社は精密加工ツール(砥石)や精密加工装置を扱うメーカーで、大半の製品の世界シェアは7割程度となっています。就職活動中の学生を含めた一般の方にはあまり名前が知られていないのが現状ですが、育児支援等の働きがいを与える制度や福利厚生施設は他社に比べても充実していると思います。

せっかく縁があり入社したのに、育児や介護などの理由で優秀な従業員が退職してしまうのはもったいない。「人は財産」という会社の理念は、「人財部」という部署名にも表れています。

働きやすい環境づくりのための取組みを教えてください。

性別や年齢等に関わりなく、

誰もが働きやすい、そして働きがいのある環境を目指しています。育児両立支援に向けた休暇制度や手当のほか、子どもの看護が必要なとき(病気のときや感染症等)による学級閉鎖、罹患後の登園・登校停止期間)は在宅勤務が可能です。電車のラッシュを避けてマイカーで子どもと一緒に通勤し、社内の託児所を利用してはいる従業員もいます。また、「ウエルカムバック制度」という、配偶者の転勤等の事情で退職した従業員の復職を支援する制度もあります。

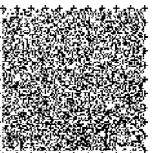
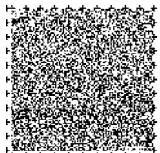
さらに最近では、子どもの診察などの用事が終わったら1時間でも早く仕事に戻りたい、という従業員の要望をきっかけに、有給休暇の時間単位取得の検討も進めています。

これらの取組みの成果もあ



福利厚生施設

り、育児に関する休みの取得率は女性100%、男性9%となっています。
「従業員満足がなければ顧客満足は創造できない」という考えのもと、社内には制度や施設、業務等、さまざまなアイデアを提案、要望する仕組みがあります。このように従業員の立場を尊重する文化が、結果的に働きやすい雰囲気をつくっているのだと思います。





エセナおおたからのお知らせ

■ 大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」の講座・イベント

タイトル	内容	日時	対象・定員・その他
50歳以上の女性のための「女の生き方塾」	これからの人生をさらに充実したものにするため、健康・家族との関係などを考えます。	10月27日、11月10日・17日・24日 木曜日実施 14:00～16:00	区内在住・在勤・在学の概ね50歳以上の女性 抽選で25人、締切10月20日(木)
50歳以上の男性のための「男の生き方塾」	退職後の人生をさらに豊かにするため、調理実習・コミュニケーション・地域活動などを学びます。	11月2日(水)・9日(水)・17日(木) 14:00～17:00(2日のみ 17:30)	区内在住・在勤・在学の概ね50歳以上の男性 抽選で25人、締切10月24日(月) 参加費1,000円 2日のみ池上会館で実施
育休ママのためのパワーチャージセミナー	育休明けの職場復帰に伴う不安を解消し、働き続けることの大切さを学びます。※保育あり	10月19日(水)・26日(水)・30日(日)、11月2日(水) 10:00～12:00	区内在住・在勤で 第一子の育休休業中の女性 抽選で25人、締切10月10日(月)
DV防止セミナー	身近にある暴力(ドメスティック・バイオレンスなど)に気づくための正しい知識を学びます。※保育あり	11月20日(日)10:00～12:00、 12月2日(金)14:00～16:00	原則区内在住・在勤・在学の方 優先で先着25人

講座・イベントのお問合せ・お申込みは『エセナおおた』まで

エセナおおたでは、男女共同参画社会の実現をめざし、イベントや講座、相談などの様々な取組みを行っています。また、区民の皆さんが自主的に活動する場を提供しています。

大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」



TEL 03-3766-4586

FAX 03-5764-0604

E-mail escena@escenaota.jp

〒143-0016 大田区大森北4-16-4

<http://www.escenaota.jp/>

📍 エセナおおた



JR大森駅から徒歩8分。駐車場はありません。

★…案内標識

無料 女性のためのたんぽぽ相談

男女平等推進センター「エセナおおた」のたんぽぽ相談は、女性のための相談窓口です。「たんぽぽのように明るく、たくましく、生き生きとした明日のために」との思いを込め、あなたがあなたらしく生きるための応援をします。一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

- 対象者は区内在住・在勤・在学の女性です。
- 秘密は、厳守します。相談内容により、より適切な専門機関をご紹介します。
- 面談を希望する場合、相談受付時間内に電話で予約してください。面談場所は「エセナおおた」です。
- 面談中、保育(1歳～未就学児)が必要な場合は、相談日の1週間前までに予約してください。

こころの悩み 働く女性の悩み

一人で悩んでいませんか?
まずは、お電話ください。

TEL 03-3766-6581

	日	月	火	水	木	金	土
相談時間	10:00～13:00	13:00～16:00	18:00～21:00	13:00～16:00	10:00～13:00	13:00～19:00	
受付時間	12:30まで	15:30まで	20:30まで	15:30まで	12:30まで	18:30まで	

東京都では、男性のための相談も行っています。

東京ウィメンズプラザ 男性のための悩み相談
TEL:03-3400-5313

電話相談: 毎週月曜日・水曜日 17:00～20:00(祝日・年末年始を除く)
面接相談: 毎週水曜日 19:00～20:00(祝日・年末年始を除く) ※左記電話にて、要予約

編集・発行/大田区総務部 人権・男女平等推進課
〒144-8621 大田区蒲田5-13-14 TEL:03-5744-1610 FAX:03-5744-1556

・平成28年9月発行
・過去のバックナンバーは「大田区ホームページ」>地域社会>男女共同参画を目指して>男女共同参画のための情報誌「バステル」に掲載しています。
ご意見・ご感想もこちらのホームページからご入力いただけます。

▶ 大田区ホームページ「バステル」

